

〈令和元年度藤沢市公益的市民活動助成事業〉

団体名	ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト
企画名	地域 みんなが Home!ホームスクーリングしやすい環境作り
補助金額	300,000円、視察補助50,000円

企画の目的

不登校等の理由により家庭で過ごしている親子が家庭を起点に地域施設などを活用して興味のある事を思いっきり学べる環境を作る。その組織基盤強化。

主な内容と成果

・朝カフェ事業

不登校に関する悩みの共有や情報交換の場として、「朝カフェ」を定期的で開催した。156名の方が参加し、気持ちがポジティブに変化したという感想を多くいただいた。親同士の自主的なチームが立ち上がる場となり、親の主体的な活動につながった。

朝カフェLINEグループメンバーは、4月当初の20名から71名に増加した。

・セミナー事業

「普通と違っていいんじゃない？」セミナーを2回開催。計180名の参加（アンケート集計は計121名）があり、当事者の方から前向きな気持ちになったという感想を多くいただいた。また、地域のサポーターが増える機会となった。

メーリングサポーター人数（当事者及び協力者）は、4月当初の38名から158名に増加した。

・ワークショップ事業

大人、子ども、大学生が交わり、打合せ4回、現地調査1回にわたるシリーズ企画「駄菓子マルシェ」を開催。準備段階から協力してくれた方は延べ99名で、そのうち子どもが延べ40名、大学生が延べ14名であった。

・視察（訪問先：筑紫女学園大学等）

不登校、ホームスクーラーが安心して過ごせる居場所を大学キャンパス内に作る「キャンパススマイル事業」の実施団体を視察した。プログラム活動も大事だが、地域のサポーターを増やす、地道な活動が大切だと改めて実感した。



不登校に関する悩みを共有する「朝カフェ」を定期的で開催（写真左）。「普通と違っていいんじゃない？」セミナーには多くの参加があった（写真中央）。活動やイベントをPRするチラシも積極的に配布した（写真右）。

反省点・課題など

活動の幅が広がりメンバーが増えたことは良かったが、活動の目的が不明瞭になりがちであった。目指すべき旗のイメージを明確に伝えていく必要があると考えている。